

道徳学習指導案

対象 第1学年

1 主題名 本当の友だち 2-(3)

2 資料名 「近くにいた友」(「あすを生きる1」日本文教出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

現代におけるコミュニケーションの取り方の1つとして、携帯電話が上げられる。携帯電話の普及率は年々高くなり、ほとんどの中学生が所持している。生徒同士の中でも、携帯電話におけるメールでのやりとりが増えている。便利な情報機器である反面、直接顔を合わせず、匿名で送信されたメールが相手にどのような気持ちを抱かせ、それが時には人間関係の崩壊につながりうるということを理解させることは、今後の生活をより良くするために大切である。多くの生徒のメール相手は友だちであり、友人とのコミュニケーションの手段を通して友情について考えさせるために、本主題を位置づけた。

(2) 生徒の実態について

中学校生活も半年が過ぎ、小学校とはまた違った人間関係を築いている。思いやりを持った言動が見られる一方で、人を傷つけるような軽率な言葉を発したりからかったりするような言動も見られる。思ったことがはっきり言えなかったり自分の考えを自分の言葉で上手に伝えられなかったりして、友人関係に悩んでいる生徒も多い。本時を通して、情報機器を通じたコミュニケーションについて学び、他者を思いやり、友情を大切にす温かい心を育みたい。

(3) 資料について

部活の練習の中で起こった日常のありふれた場面を題材にしている。野球部の練習でミスの連発に負けずに努力する主人公に対して、知らないメールアドレスから「野球部をやめてしまえ」という内容が届き、ライバルの信也から送信されたメールだと信じ込み、主人公が激怒する。しかし、そのメールに対して腹を立てている信也の姿を見て、犯人は信也ではないことが分かり、信也に対しての友情をさらに感じる主人公の心情を中心に描かれている資料である。この資料を通して、「友情」とともに「コミュニケーションの手段」について考えさせたい。

4 本時の学習

(1) ねらい

相手の表面的な言動だけでなく内面的な良さに目を向け、友だちの良さを発見し、互いに励まし合う信頼関係を育てる。

(2) 指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	●教師の働きかけ ○指導上の留意点
導入	1 友情について考える。 ○「友情」「友人」という言葉から連想することは何か。」	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも近くにいる。 ・一緒にいて楽しい。 ・困った時に助けてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教師の働きかけ ○指導上の留意点 ○友人関係の中で、気付かないうちにできあがっている上下関係や、優越感、劣等感という問題意識を呼び起こさせる。
展開	<p>2 資料「近くにいた友」を読み、次のことについて考え、語り合う。</p> <p>発問①「オサムが信也のことをどのように思っていたか。」</p> <p>発問②「オサムが信也に対して怒ったのはなぜか？また、それについてどう思うか。」</p> <p>発問③・中心発問「オサムはどんなことを思いながら、信也の家に向かって自転車を走らせたのだろうか。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><語り合い></p> <p>①ワークシートに自分の考えを記入する。</p> <p>②座席を班の形にし、司会カードを用いて小グループで語り合う。</p> <p>③座席を戻す。</p> <p>④小グループで出た意見や考えを学級で発表する。</p> <p>⑤再びワークシートに自分の考えを記入する。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・絶対に負けたくないライバルのような存在。 ・野球ができる憧れの存在。 ・信也に裏切られたと思ったから。 ・メールで伝えるなんて卑怯だと思ったから。 ・信也が友情に気づき、自分が勘違いして怒ったことが恥ずかしい。 ・自分を思ってくれた信也に対して申し訳なく思い、友情を感じた。 ・信也に謝りたい。 ・自分を信じてくれていた信也にありがとうと伝えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●資料を朗読する。(T1) ●挙手、指名により発表させる。(T1) ●生徒の意見を板書する。(T2) ○練習に励むオサムの行動や心情をくみ取り、オサムが信也を意識していることに気付かせる。 ●挙手、指名により発表させる。(T1) ●生徒の意見を板書する。(T2) ○オサムの行動について問い、生徒自身の考えを語らせる。 ●ワークシートを配布する(T1) ●発問を板書する。(T2) ○信也の本当の気持ちがわかり、動揺するオサムの心を考えさせる。 ○小グループをまわりながら、語り合いの内容を聞き、教師からも疑問や意見を投げかけ語り合いを深める。 ●挙手、指名により発表させる。(T1) ●生徒の意見を板書する。(T2)
終末	<p>3 教師の説話をする。</p> <p>4 今日の授業で感じたこと、考えたことを書き、発表する。(ワークシート)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○直接話をするにより、相手の気持ちが分かり、友情を確認すると共により友情が深まるということを理解させる ●ワークシートに記入させる。(T1) ●感じたこと、考えたことを聞く。(T1) ○自分自身を振り返り、友情についてどう考えるかを深める。 ●ワークシートを回収する。(T1)

(3) 評価の観点

- ・友人の存在に気付き、友情のすばらしさについて理解できたか。
- ・表面的な言動だけでなく、内面的な良さが尊敬と信頼につながるということに気付けたか。

5 板書計画

